|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 音楽ⅠレポートNo. | 楽典（３） | 教科書『MOUSA１』 | P.150 楽典P.154 コード・ネームP.156 ギター／キーボード・コード表 |
| 提出日 | 月　　　日 | 氏名 |  | 得点 |  | 評価 |  |

1. **次の音符について、音名（日本語）を１点、２点などの区別を付けて書き、鍵盤上での位置をア〜ミから選ぼう。**
2. **次の楽譜が４小節になるように、正しい拍子記号と縦線を書き入れよう。**（各2点＝6点）
3. **次に示された音を含む音階の調性（日本語）と種類（長音階、和声的短音階のいずれか）を書こう。**（各1点＝8点）
4. **例を参考に、示された音程になるよう上下の音を右側に書き入れよう。**（各1点＝12点）





（各1点＝10点）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **音名** | **鍵盤の位置** |
| **１）** |  |  |
| **２）** |  |  |
| **３）** |  |  |
| **４）** |  |  |
| **５）** |  |  |







1. **左側の２音と同じ音程になるように、示された各音の上に音を書き入れよう。**（各2点＝10点）
2. **次の旋律を短３度上げて、ト音譜表に調号を用いずに書こう。**（10点）
3. **次に示された和音のコード・ネームを書こう（オン・コードは使用しない）。**（各2点＝20点）
4. **示されている音をルート（根音）にして、コード・ネームの構成音を書こう。**（各2点＝16点）
5. **次の文に当てはまる用語や記号をそれぞれ書き入れよう。**（各1点＝8点）

ア　長音階の主音と第2音の音と音の間隔は（　　　　　）、第7音と主音の音と音との間隔は半音である。

イ　属音は、主音の（　　　　　）度上の音である。

ウ　イ短調の和声的短音階の第７音は、日本語の音名で（　　　　　）である。

エ　全ての長調，短調のⅤ度の和音は長三和音、Ⅶ度の和音は、（　　　　　）和音である。

オ　全ての短調のⅡ度の和音は減三和音、Ⅲ度の和音は（　　　　　）和音である。

カ　音楽用語「espressivo」は、「（　　　　　）」という意味である。

キ　「そのパートを全員が同じ音や旋律で演奏する」という意味の音楽用語は「（　　　　　）」である。

ク　強弱記号「（　　　　　）」は、「強く直ちに弱く」することを示す。







